

名古屋市東部の緑地帯の地形と地質

名古屋の東部地域は猿投山山塊から知多半島にかけて緑地帯が点在しています（図 1）。そのいくつかの地形と地質の紹介です。緑地帯に分布する新生代層の多くは、東海層群矢田川層猪高部層とその上に載る第四系の八事層です。矢田川層は古くは松澤・嘉藤（1954）、嘉藤・桑原（1967）によってまとめられ、森（1971a）によって、はじめて火山灰を用いて下位から水野部層（現在は藤岡部層と日進部層(Ni)に細分）、高針部層(Ta)、猪高部層(Id)に分けられました。各地層については以前に紹介（会報 no.12 など）しましたので詳細は省略します。いずれの部層も河川によって運ばれてきていますので、地域差があって層準ははっきりしない所もあります。日進部層は主に不規則な砂泥（シルト層）互層で、最上部に東郷火山灰層が挟まれています。高針部層は一般的に下位から、砂礫層－亜炭を挟む緑青色粘土層－砂礫層－亜炭を挟む粘土層です。猪高部層は名古屋市内に広く分布し、砂礫層～シルト層です。多くの場所でその上に八事層の砂層が載っています。八事層(Ya)は千種区から南西方にかけて丘陵の頂部に分布しており、厚い礫層の間に何枚かのシルト～砂層が挟まっています。礫のほとんどは数 cm 大のチャート丸の礫で、風化によって表面が白っぽくなっているものが多いのが特徴です。八事層に下位に“くさり礫”を多く含む唐山層(Ka)が見られるところもあります。

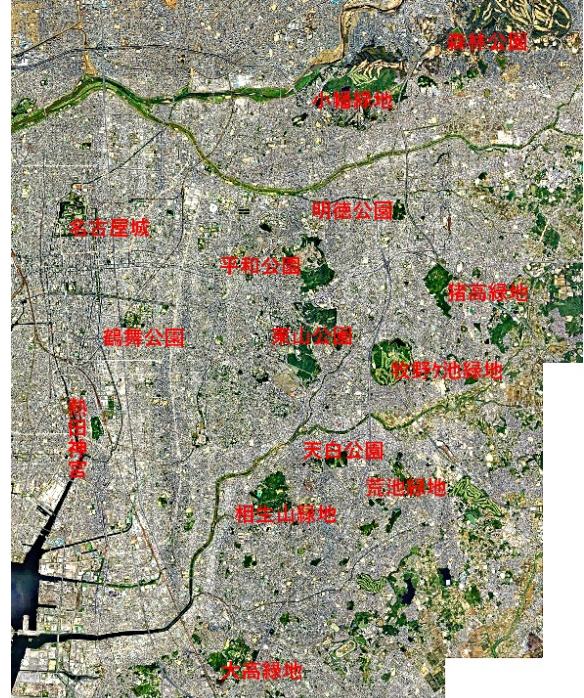


図 1 名古屋東部の緑地帯（Google Earth に加筆）

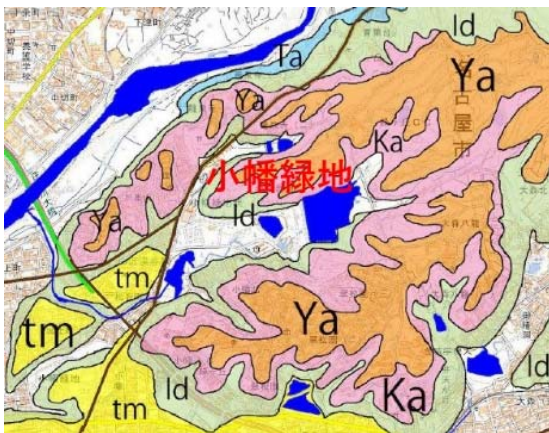


図 2 小幡緑地：標高 100m～50m 程度の丘陵で、下位から高針部層、猪高部層、唐山層、八事層が載っており、比較的良好露頭が残っています。右図は唐山層で“くさり礫”が見られます。tm は中位段丘です。



図3 明德公園：南北 600 m，東西 400 m 程度の緑地帯で，標高 50～70 m の丘陵に，猪高部層の砂礫層，砂層，シルト層が分布しています。公園の西部には高針部層が分布しています。

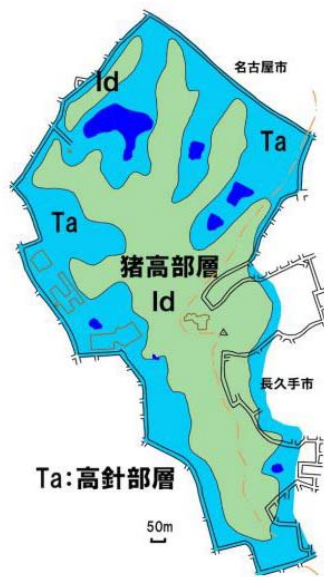


図4 猪高緑地：標高 60～100 m ほどの丘陵で，南部ほど高く北～北西に向かって低くなります。北に向かって何本かの谷が発達することや，西側斜面が標高 70 m 付近で北北西-南南東にほぼ直線的な地形をつくるのが特徴です。周辺は高針部層が，上部に猪高部層が載っています。右図はその境界の長久手火山灰層（高針部層最上部）です。

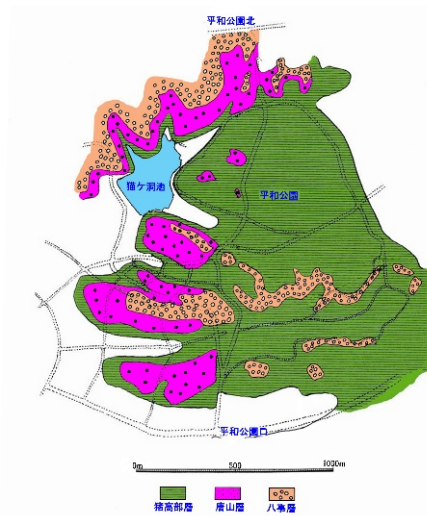


図5 平和公園：猪高部層の上に唐山層と八事層が載っています。上図は猪高部層の砂層の上に八事層の礫層が載っています。

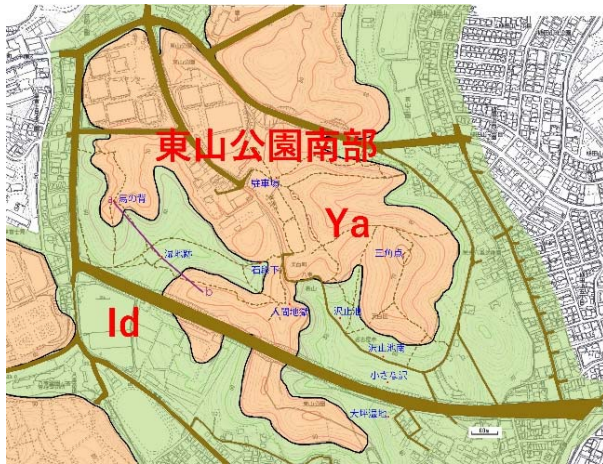


図6 東山公園南部：標高 80m～50m程度の丘陵で、標高 70m程度を中心に等高性が見られます。尾根筋は南北に走る傾向があり、湿地（湿地跡）が谷間に形成されています。猪高部層の上に八事層が載っており、右図の最上部の赤褐色の部分は八事層でそれから下位は猪高部層の砂層～シルト層です。



図7 牧野ヶ池緑地：標高 60m～50m程度で、NNW-SSE 方向の谷が発達しています。全域、猪高部層で“白礫”も含まれ、白色のシルト～砂層が分布しています。基質中には磁鉄鉱が多く含まれます。

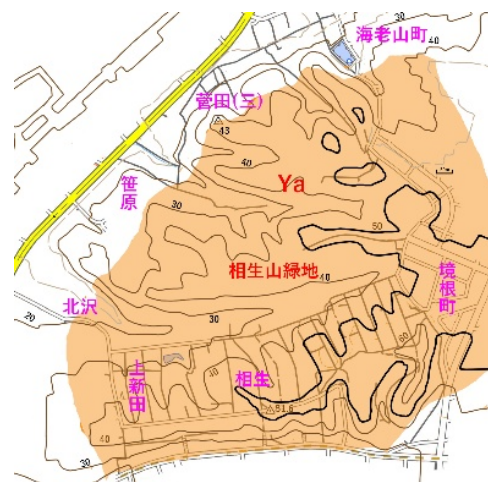


図8 相生山緑地：標高 60m～40m程度で、北西側には天白川が流れています。大きな露頭は見られず、地表面には八事層の中～大礫が分布しています。



図 9 農業センター～荒池：農業センター周辺には高針部層が広く分布しています。東方は日進部層が分布しています。右図は東郷火山灰層で、高針部層と日進部層の境界となっています。



図 10 大高緑地：標高 50m～20m程度の丘陵で、全体は猪高部層の主に砂層～シルト層が分布しています。丘陵の上部に八事層の砂礫層が点在しています。左図は南東部で見られた猪高層のシルト層です

主な参考引用文献

- 土質工学会中部支部, 1987, 最新名古屋地盤図. 名古屋地盤図出版会, 487p.
- 嘉藤良次郎・桑原 徹, 1967, 名古屋市付近の新第三系第四系 日本地質学会地質見学案内書, 26p.
- 松澤 勲・嘉藤良次郎, 1954, 名古屋および付近の地質. 愛知県建築部, 35p.
- 村松憲一, 2000, 名古屋市東部の第四系-教材としての都市部の地質. 名古屋地学, 62, 47-56.
- 村松憲一, 2018, 名古屋市守山区・尾張旭市の地質. 名古屋地学, 80, 1-9.
- 村松憲一, 2019, 猪高緑地(名古屋市名東区)の地質概報. 名古屋地学, 81, 1-5.
- 村松憲一, 2019, 愛知県の地質とジオサイト 第二版,
- 村松憲一, 2020, 名古屋市名東区明徳公園とその周辺地域の地質概報. 名古屋地学, 82, 1-6.
- 森 忍, 1971, 名古屋市東部の瀬戸層群矢田川累層. 地質雑, 77 (10), 635-644.